

教職支援室便り (4月号)

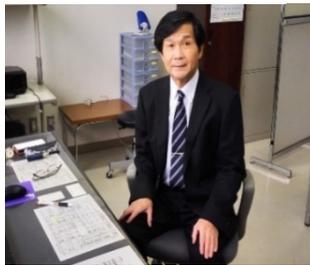
令和4年 4月 8日 (金)

文責：教職支援室 曾我文敏

☎0985-20-4808



教職支援室担当者あいさつ



教職支援室を担当します、曾我文敏（そが ふみとし）です。平成29年度から、教職支援室を担当しています。本年度も、教職課程の学生の皆さんをはじめ、多くの方々への支援に努めていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

また、この教職支援室便りについては、本年度も毎月第2金曜日に発行していきます。教員採用選考試験に関する情報、試験に向けて取り組む学生の皆さんの様子、教職課程の授業、教育に思うこと、教育に関する様々な情報等について発信していきます。教職支援室便りが、多くの皆様に読んでいただけるよう、内容を工夫しながら、作成に取り組んでいきたいと思えます。

昨年度・教職支援室活用量

「延べ678名」

昨年度も、多くの方々に教職支援室を活用していただきました。本当に感謝の気持ちで一杯です。コロナウイルス対策の中、電話やメール等で相談された方を含めると、3月31日現在で、「延べ678名」の皆様にご利用していただきました。

教職支援室の責務は、本学の学生の皆さんはもちろんのこと、卒業生、学校現場の先生方、教育関係機関の皆様等への支援であると考えます。具体的な支援としては、教職への理解を深める教職課程の授業（生徒指導、道徳教育、教育実習、教職実践演習）、教員としての資質・能力の向上を目指す教職特別講座、日々の相談支援活動、地域貢献を目的とした講義・講演活動などの取組です。



特に、昨年度は、宮崎市立清武小学校の先生方に、本学の道徳教育（担当教員による道徳科の模擬授業）の授業を参観していただき、その後、「道徳科の指導の在り方」についての懇談会を行うことができました。私も授業担当者として、とても貴重な時間、充実した時間を共有していただきました。大変ありがたく思います。また、ぜひこのような機会をつくりたいと考えています。

次頁に、先生方の感想を紹介します。

貴重な時間をありがとうございました。

授業の中で、「私は・・・」「自分だったら・・・」と語り始めた学生の皆さんの姿を見て、教材に浸り自分と主人公を重ね合わせたことが、ここにつながるんだと実感しました。「あなたならどうする？」と問わなくても、自分自身のこととして考えることができる授業を、私もつくっていきたいです。

教師も一人の学習者として、主人公を好きになるぐらい、教材と向き合っていきたいです。

学生の皆さんが、自然に友達の意見に拍手をしたり、登場人物の動きをやってみたりする姿を見て、こんな道徳授業をやりたいと思いました。

道徳科の授業は、取り組みにくいものだと思っていましたが、たくさんのヒントを得ることができました。

今日の授業で一番印象に残ったのは、補助発問です。ひとつひとつの発問の中に、心を揺さぶる発問や考えを深める発問があり、とても参考になりました。特に、人の弱さに触れた発問は、子どもたちが自分との関わりを意識しながら、弱さと強さを考えているのではないかと思ひ、今後の授業に生かしたいと思いました。

本当にありがたい感想をいただきました。心から感謝いたします。

学校教育を取り巻く問題・課題は、年々深刻さを増しています。本年度も、多くの皆様に教職支援室を活用していただけるよう、業務の充実に努めていきたいと思ひます。

388の面接試問例の分析（整理）：その2

本年3月号から、教員採用選考試験における面接試験の重要性を踏まえ、これまで教職特別講座（旧：勉強会）で活用した、388の面接試問例の分析（整理）資料を掲載しています。

今回は、「受験自治体に関すること、生徒指導に関すること、保護者対応に関すること、これまでの経験に関すること」について、388の試問例の中から、各10問を掲載します。

1 受験自治体に関すること

- 1 本県を受験した理由は何ですか。
- 2 他の自治体を受験しましたか。
- 3 赴任先の希望はありますか。
- 4 本県の魅力は何だと思ひますか。
- 5 本県の教育施策の中から、1つ述べてください。
- 6 本県の求める教員像について述べてください。
- 7 郷土の偉人を1人紹介してください。
- 8 本県の児童生徒に不足している力は、何だと思ひますか。
- 9 本県の教育的課題は何だと思ひますか。
- 10 最近の新聞記事等で、本県について気になる内容はありますか。

2 生徒指導に関すること

- 1 自己指導能力とは、どのような能力ですか。
- 2 生徒指導の3機能について述べてください。
- 3 連絡なしに休んでいる子どもに対して、どのように対応しますか。
- 4 「いじめを言わないで」と訴える子どもに対して、どのように対応しますか。
- 5 コミュニケーションが苦手な子どもには、どのような支援をしますか。
- 6 児童生徒に対する「懲戒」とは、どのような指導ですか。
- 7 児童生徒間のもめごとがあったとき、どのように対応しますか。
- 8 クラスに苦手な子どもがいたらどうしますか。
- 9 挨拶の大切さをどのように教えますか。
- 10 いじめへの対応で一番大切にすべきことは、何だと思えますか。

3 保護者対応に関すること

- 1 保護者と、どのように連携を図りますか。
- 2 保護者は、子どもに対してどんな思いでいると思えますか。
- 3 保護者が、同僚の先生の指導力を訴えてきたとき、あなたはどのように対応しますか。
- 4 保護者の信頼を得るには、何が大切だと思えますか。
- 5 保護者に信頼される教員とは、どのような教員だと思えますか。
- 6 保護者から信頼されない教員とは、どのような教員だと思えますか。
- 7 保護者は、学校に何を求めていると思えますか。
- 8 最初の保護者会で、どのようなことを話しますか。
- 9 保護者が、「塾が忙しいので、宿題を減らしてほしい。」と言ってきたら、どのように対応しますか。
- 10 利己的な保護者には、どのように対応しますか。

4 これまでの経験に関すること

- 1 子どもたちの存在の尊さを感じた経験はありますか。
- 2 計画的に取り組んで、達成したことはありますか。
- 3 あなたが取り組んできたことで、誇れることは何ですか。また、それをどのように教育に生かしますか。
- 4 長い間続けていることは何ですか。
- 5 あなたは、困難をどのように乗り越えてきましたか。
- 6 リーダーシップを発揮した経験について述べてください。
- 7 他の人にされた行為で、やってよかったと思った経験はありますか。
- 8 失敗から学んだ経験はありますか。
- 9 これまでに、どのようなボランティア活動に取り組みましたか。
- 10 ボランティア活動から、どのようなことを学びましたか。

道徳の教科化に思う！（シリーズ59）

平成29年の6月号から、「道徳の教科化に思う」をテーマに、道徳授業の本質的な在り方等について連載しています。今回は、「教材・ネパールのビール・指導資料その2」として、発問構成等についてまとめました。

1 教材名「ネパールのビール」

2 出典「教科用図書」

学研教育みらい、廣済堂あかつき、日本教科書

3 対象学年

中学校1・2年生

4 ねらい 内容項目D-（22）「よりよく生きる喜び」

人には自己中心的、打算的な価値観で行動する弱さがあることにふれながら、他者の喜びのために懸命に生きようとする強さもあることを感得させ、人間尊重の精神をもち、よりよく生きていこうとする心情を養う。

5 教材内容（概略）

筆者が、撮影のためネパールのドカラ村に滞在したときの話である。この村は、自動車を通れる道路を含む、一切のライフラインに恵まれていない地域にある。ある日筆者は、村の少年チェトリ君に4本のビールの購入を依頼する。そこは、大人の脚でも1時間半はかかる場所であったが、チェトリ君のおかげで、筆者やスタッフはビールを飲むことができる。そして、次の日、今度は1ダース以上のビールを依頼し、大金を渡して送り出す。しかし、チェトリ君は、あくる日も、その翌日も帰ってこない。村人たちに聞くと、大金をもって逃げたと言われる。筆者は、歯ざしりするほど後悔するが、3日目の深夜、泥まみれになってチェトリ君は帰ってくる。手には、転んで割った3本のビールの破片と釣銭を大切にもっていた。筆者は大泣きをする。

6 発問構成例（展開前段） ○・・・予想される生徒の反応 ◇・・・指導上の留意点 補・・・補助発問

Q1. 主人公は、どんな気持ちからチェトリ君に2度目のお願いをしたのでしょうか。

- 1回目も、ちゃんと買ってきてくれた。大丈夫だろう。
- 昨日のビールは美味しかった。やはりビールが飲みたい。
- また買ってきてくれるなんてうれしいことだ。

◇ 生徒には同じ意見でも多く発表させ、主人公の安易な考えについて、全員でおさえるようにし、次の補助発問につなげる。

補～こんなに自然条件が厳しい中で、2度も依頼する主人公をどう思いますか。

- チェトリ君の方から言ってきたので、主人公は自然に頼ってしまったと思う。よっぽどビールが飲みたかったのだろう。そんなに悪いとは思わない。
- いくらチェトリ君が言ってきたとしても、主人公は調子に乗りがちではないか。主人公はもう少し、チェトリ君のことを考えてもよかったのではないか。

◇ 主人公の言動を評価する補助発問を投げかけ、生徒が主人公の存在を身近に感じ、自分との関わりで考えられるようにする。また、批判と弁護の意見を引き出す中でチェトリ君の人間性のよさに触れ、次の補助発問につなげる。

補～チェトリ君は、どんな少年なのでしょう。

- 心が純粋な少年。
- まじめに勉強をしている少年。

◇ 主人公は取材を通して、チェトリ君の勤勉さや純真さなどを感じていたが、本当にそのことを理解していたのかについて触れ、最後に大泣きする場面を考える布石とする。

Q 2. 村人や先生から「大金を持ったのだから、逃げたのだろう。」と言われたとき、主人公はどんな気持ちだったでしょう。

○ やはり大金を持って逃げたのではないか。あんないい子の一生を狂わしてしまった。

○ 事故に遭っているのではないか。そうであれば大変だ。

○ どうしたのだろう。早く帰ってきてほしい。帰ってくるはずだ。

◇ 様々な思いが交錯する中で、あんないい子の一生を狂わしたと考え、経済的に苦しいであろうチェトリ君が、大金を持って逃げたと考える主人公を捉えさせる。

補～チェトリ君が逃げたと考える主人公を、ひどいと思いませんか。どうして、信じてあげられないのですか。

○ 大金を持って帰ってこなかったら、やはり疑ってしまうと思う。無理もない。

○ 自分の勝手に頼んだのに、逃げたと考えるのはひどいと思う。

○ 人には、他を疑ってしまう面があると思う。

◇ 自分の欲で頼んだことでありながら、またチェトリ君の勤勉さや純真さを知りつつも、チェトリ君を信じきれない人間の弱さに気付かせたい。また、生徒には、こんな場合でも信じきれないことがあるのかと問い、人間の弱さについて自分との関わりの中で考えさせたい。

Q 3. 3日目の深夜、チェトリ君が帰ってきたとき、主人公はどんな気持ちだったでしょう。チェトリ君が立っているのを見た瞬間、そしてそのあと、どんな気持ちが込み上げてきたのでしょうか。

○ 本当にチェトリ君なのか。よく帰ってきてくれた。

○ 泥まみれでよれよれの格好で、本当に大変だったのだろう。

○ チェトリ君は、本当に純真な心をもっている子だ。

○ 自分はチェトリ君を疑ってしまった。信じることができなかった。情けない、申しわけない。

◇ 「泥まみれでよれよれの格好」、「山を四つも越した別の峠まで行った」、「べそをかきながらその破片を全部出してみせ、釣銭を出した」の表現を添えながら、その姿を目の当たりにした主人公の気持ちを、教師と生徒が一体となって話し合いたい。

補～「あんなに深く、いろいろ反省したこともない」という主人公は、チェトリ君からどんなことを学び、これから生かしていこうと考えたのでしょうか。

○ こんなに厳しい環境の中で、あんなにも純真な少年が育っている。人のもつ純真さを学んだ。

○ どんなことがあっても、約束を守ろうとした誠実さを学んだ。

○ 人を信じる大切さを学んだ。

◇ 主人公は、チェトリ君の強さ（純真な心、他者を尊重する心、誠実さ、勤勉さなど）を体感し、自己の弱さ（自分の軽率な言動、他者を尊重する心の不十分さ、人を疑う心・信じきれない心など）を自覚しながら、これからの生き方につなげようとしていることに気付かせたい。